

所属・氏名（助産学専攻科 氏名：北村 万由美）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概要
1 (学術論文) 実習指導者が認識する分娩介助実習の実情 『筆頭論文』		共著	2021年4月	インターナショナル NursingCare Research, 20(1)	実習指導者が認識する分娩介助実習の実情を明らかにすることを目的に、自己式質問紙調査を行い内容分析を行った。分娩介助実習では今後、臨床と教育機関との連携強化や助産師の生涯学習の推進、さらに夜間の実習指導体制や学生の休息の確保等、実習環境の整備・改善の必要性が示唆された。 (総ページ数：10頁) 論文著者名：北村万由美・江口瞳 担当部分：全般
2 (学術論文) 分娩介助実習における助産診断に関する助産師の教授活動 『筆頭論文』		共著	2019年4月	母性衛生 第60巻1号, 39-46	分娩介助実習において助産診断を指導する助産師の教授活動を明らかにすることを目的に、半構造化面接法を用い内容分析を行った。助産師は学生の思考する力や判断する力を育て、一刻と変化する分娩場面をエビデンスに基づき診断ができるよう、学生自身の内省を促す指導をしていることが明らかになった。 (総ページ数：8頁) 論文著者名：北村万由美・江口瞳 担当部分：全般
3 (学術論文) 分娩介助実習における倫理的配慮に関する助産師の教授活動 『筆頭論文』		共著	2019年1月	母性衛生 第59巻4号, 810-817	分娩介助実習において倫理的配慮を指導する助産師の教授活動を明らかにすることを目的に、半構造化面接法を用い内容分析を行った。助産師は学生に産婦を尊重しながら新しい命を繋ぎ家族を形成していく過程を支える助産師の役割を指導していた。また助産師としての責務と使命感を伝えアイデンティティの確立を促していた。さらに学生を尊重し成長した学生を信頼することを意識しながら実習指導を実践していることが明らかになった。 (総ページ数：8頁) 論文著者名：北村万由美・江口瞳 担当部分：全般
4 (学術論文) 分娩介助実習における助産師の教授活動（第1報） 一分娩介助技術 『筆頭論文』		共著	2018年1月	母性衛生 第58巻4号, 524-531	分娩介助技術を指導する助産師の教授活動を明らかにすることを目的に、半構造化面接法を用い内容分析を行った。分娩介助実習では、一刻と変化する分娩場面を学生と共有しながら、急な対応が求められる時はリアルタイムに指示をする、手に手を添えて共に行う、見守る、モデルを示すなどを巧みに使い分けながら実習指導を実践していることが明らかになった。 (総ページ数：8頁) 論文著者名：北村万由美・江口瞳 担当部分：全般